

第3回矢白別演習場・風蓮川水系土砂流出対策等検討委員会
議事要旨

1.開催日時:平成21年7月22日(水)14:00～16:00

2.開催場所:別海町役場会議室

3.出席者:

【委員長】

新谷 融 (NPO法人環境防災総合政策研究機構北海道支部 支部長)

【委員長代理】

黒木 幹男 (財団法人河川環境管理財団北海道研究所 所長)

【委員】

川村 洋司 (北海道立水産孵化場内水面資源部 主任研究員)

立澤 静夫 (別海漁業協同組合 専務理事)

丸谷 知巳 (北海道大学大学院農学研究院 教授)

渡邊 昇 (別海町郷土研究会 会長)

所用のため、2名欠席

【事務局】

北海道防衛局

別海町

4.現地視察

委員会に先立ち、矢白別演習場内の砂防ダムの現地視察を実施。

5.主な議題等

(1)現地調査結果等の説明

(2)討議

6.議事の概要等

(1)現地調査結果等の説明

事務局から「演習場内イトウ生息等調査結果」、「降雨時の演習場内外からの濁水の発生状況」等について説明。

(2) 討議の概要

事務局の説明を踏まえ、委員が各種意見の交換を行った。

- ・ 玉川第1号ダムと楓沢第2号ダムについては、イトウの生息調査結果や既存ダムがイトウに与えている影響等を踏まえると、現在の状況では、同支川に生息しているイトウは、絶滅する可能性が非常に高いと言え、緊急に改良を実施すべきである。
- ・ 具体的なダムの改良方法については、次回委員会以降で議論することとする。
- ・ 今回事務局から報告のあった「降雨時の演習場内での濁水発生状況」については、今後の演習場内での土砂生産源対策の検討の資とすることとする。